

PRESS RELEASE

株式会社 アイ・エム・プレス
I. M. press, Inc
2012年1月25日



「【生活者に聞K!】第11回 2011年の忘年会について」ダイジェスト

約6割が忘年会に参加。

約3割が「良い習慣」と忘年会を評価。

詳細は月刊『アイ・エム・プレス』 Vol.189(2012年2月号)誌上で!

株式会社アイ・エム・プレス（東京都文京区）は、月刊『アイ・エム・プレス』掲載の連載「生活者に聞K!」シリーズ（調査主体：(株)アイ・エム・プレス/調査協力：(株)ドウ・ハウス）で、2011年の忘年会について調査を行いました。同調査結果のダイジェストをお届けします。

<調査の概要>

調査期間:2011年12月19日(月)~21日(水)
調査方法:(株)ドウ・ハウス myアンケート light を利用
調査対象:20~60代の男女

サンプル数:1,120
調査主体:(株)アイ・エム・プレス
調査協力:(株)ドウ・ハウス

<調査結果紹介>

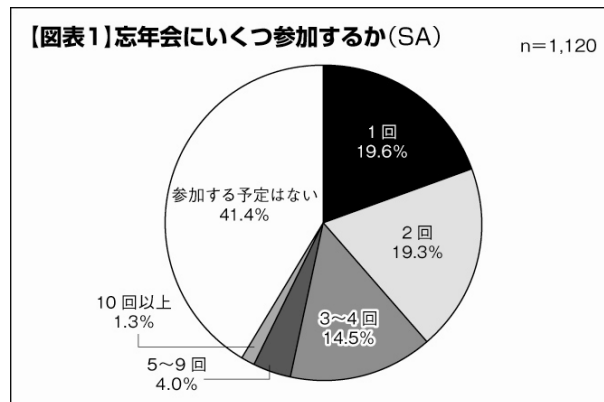
●約6割が忘年会に参加

未曾有の大震災を経験した2011年の日本。この年の忘年会シーズンを生活者がどのように過ごすかについて、アンケートを実施した。

2011年に忘年会（クリスマス・パーティーを含む）にいくつ参加するかについては、「1回」が19.6%、「2回」が19.3%、「3~4回」が14.5%で、これを合わせて過半数を超える（図表1）。しかし一方で「参加する予定はない」人も41.4%いた。

忘年会と言えばすぐに想起されるのが職場。職業別で見るとやはり「参加する予定はない」との回答割合は、「無職」で63.9%、「専業主婦・主夫」で53.8%と目立って高くなる。

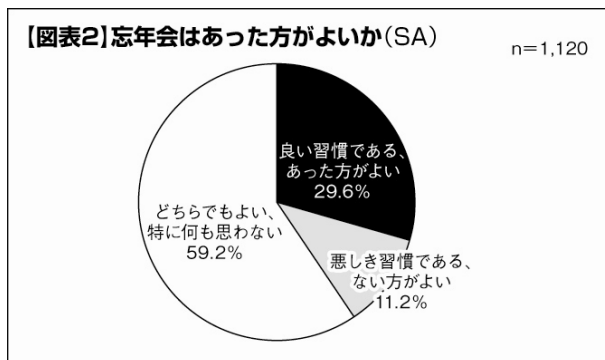
参加回数の前年（2010年）との比較では、「減った」が26.2%、「増えた」が8.2%、「変わらない」が65.6%とやや自粛傾向にあった。



●忘年会は“1年の締めくくり”

忘年会はあった方がよいか、ない方がよいかを聞いた質問では、「どちらでもよい、特に何も思わない」が59.2%で最も多かったが、「良い習慣である、あった方がよい」が29.6%で、「悪しき習慣である、ない方がよい」の11.2%を大きく上回っていた（図表2）。これを年代別にみると、「良い習慣である、あった方がよい」の割合が最も高いのは20代で35.6%、続いて30代の32.4%と、若い層の忘年会支持率が高いことから、忘年会文化は今後も続いていきそうである。

「良い習慣である、あった方がよい」と答えた人にその理由を聞いたところ、「1年の締めくくりになる」が69.3%で最も多く、「出席者同士で親交を深められる」の47.6%、「普段はなかなか会えない人と会うきっかけになる」の42.5%がこれに続いている。一方「悪しき習慣である、ない方がよい」理由としては、「行きたくないのに強制的に参加させられる」（53.6%）、「お金がかかる」（50.4%）、「お酒が飲めないの」で酒の席は苦手である」（44.8%）、「マンネリ化していつまらない」（42.4%）などが挙げられた。



調査結果の詳細は、2011年1月25日発行の月刊『アイ・エム・プレス』Vol.189（2012年2月号）に掲載いたします。月刊『アイ・エム・プレス』Vol.189の詳細は、<http://www.im-press.jp/magazine/> から。

「アイ・エム・プレス」Webサイトから
「生活者に聞く!」のより詳細な調査結果をお申し込みいただけます（無料）。
<http://www.im-press.jp/magazine/1000s.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

<株式会社アイ・エム・プレス>

代表取締役社長： 西村道子 / 設立： 1989年10月19日

業務内容：出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル6F

<本リリースに関する問い合わせ先>

(株)アイ・エム・プレス 編集部 / edit@im-press.jp までお気軽にお問い合わせください。

TEL : 03-3815-8991 / FAX : 03-3815-8957 / URL : <http://www.im-press.jp/>